

～人にやさしい・元気で楽しい山下商店街～

老若男女から障害を持たれている方まで、その如何を問わず利用できる「人にやさしいユニバーサルデザイン型商店街」を目指している。手話による接客や点字のメニュー、カロリーやアレルギー表示等のある商店街ガイドを作成するなど着実に成果を上げている。

所在地：東京都世田谷区豪徳寺1-38-6
TEL：03-6804-4850 FAX：03-3425-8090
URL：<http://www.yama-shita.net/aboutus.html>

組合員数：118名

商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

当商店街では、生涯にわたって健康で安心して暮らすことの目的とする「保健医療福祉サービス拠点」の開設が平成31年に予定されていることから、福祉・健康の視点を取り入れた「人にやさしい商店街」を目指し、積極的な取組みを行っている。

小田急線豪徳寺駅、世田谷線山下駅の前という立地条件から、空き店舗が出ても比較的早く埋まり、生活に必要な多様な業種で構成されている。しかし最近は、新規出店者の組合への加入率が悪く、商店街の結束力や一体感が弱まっていた。今回の事業では、人にやさしい商店街の特徴を強く打ち出し、地域コミュニティの担い手となることで組織の強化にもつなげることとした。



実施した事業の概要

「人にやさしい商店街：ユニバーサルデザイン型商店街」づくりのため、(1) 視覚障害のある方へ、(2) 聴覚障害のある方へ、(3) 車いすのまま入店できる、(4) カロリー・塩分調整が必要な方へ、(5) お子様連れにも安心、のそれぞれについて具体的な取組みを進め、健康で安心な商店街のイメージの定着を図った。

①商店街情報ガイド＆点字テープの制作

ヘルシーメニュー（カロリー・塩分・アレルギー表示）の導入店や、車椅子で利用できるお店を特集した商店街情報ガイドを10,000部作成し配布した。ガイドには、「点字メニューを備えた飲食店」や、「お子様連れでも安心して楽しめるキッズスペースのあるお店」も併せて紹介した。

また、専門家による「手話による接客」や「ユニバーサルデザイン」についての講習会を開催。参加者からは、「障害者の方が手助けを求めているのを見分ける方法」や「声のかけ方」などの質問が出され、積極的に障害者と向き合おうとする意識が高まった。

②店頭に貼る「やさしいマーク」シールの作成

お客様に「人にやさしい・元気で楽しい・山下商店街」の取組みを周知するため、店頭に貼るシールを作成（写真参照）。このシールを貼ることで、各店舗のユニバーサル・デザインに対する意識も向上し、「障害があっても、お一人で安心してお越し頂けるお店にしたい」という意識の醸成につながった。こうした取組みについてキャンペーンを実施したことにより、地域の人々に商店街の活動を一層認識してもらうことができた。

難聴障害のある方へ

お客様と会話をしたくて手話を習得したお店

難聴障害があるお客様に対して多くのお店では、筆談で会話をしています。お客様と「筆談を含めた会話をしたい」という気持ちから手話を習い始めたお店では、毎日美しいある会話が生まれています。

まおな

数年前から手話を取り組み、その魅力にすっかりハマっています。今では、冗談を交えた会話をできるまでになりました。他のスタッフも手話に取り組んで、どうぞ気軽に一杯をお楽しみください。

成果と成功の要因

本事業の成功の要因は、世田谷区視力障害者福祉協会、聴覚障害者協会、在宅栄養士会、あんしんすこやかセンター等、各分野の専門機関から助言・協力を頂いたことが大きい。「視覚障害の方と交流ができた」という会員も現れたほか、実施前には全くなかった塩分・カロリー表示店舗が6店、点字・手話接客店舗が12店となった。こうした取組みの結果、地域住民に、健康に役立ち、安心して訪れることができる商店街というイメージをもってもらえ、来街者の増加等に結びついている。



今後の取り組み

本事業の取組みが評価され、世田谷区が実施する「せたがや障害者・まち！交流塾」において事例発表を行うことになった。この発表が、商店街の活動をさらに地域に拡大・浸透させていくきっかけとなっている。

今後も各分野の専門家と連携を強化し、イベント等を実施する際には「人にやさしい」ことの意義を学ぶ機会を設けていくこととしている。特に、商店主をはじめとする関係者の意識の改革が必要であることから、できるだけ参加しやすい形態での講座の開設等を行っていく予定である。